

ベーゼンドルファーで学んで楽しむ

# 美女と野獣の

トーク&ピココンサート with Bösendorfer



© Akira Muto

## 田部京子

吉松 隆：プレイアデス舞曲集より  
メンデルスゾーン：無言歌集より  
シューベルト：4つの即興曲 Op.142より  
ブラームス：6つの小品 Op.118より  
グリーグ：抒情小曲集より  
シベリウス：樹の組曲より

2025  
11/6  
thu

14:00 開演  
(13:30 開場)



©堀田力丸

## 真嶋雄大

音楽評論

使用ピアノ：ベーゼンドルファー コンサートグランド 290 インペリアル

### ヤマハ銀座コンサートサロン (ヤマハ銀座6F)

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

- 東京メトロ銀座線 / 丸ノ内線 / 日比谷線「銀座」駅 A3 出口より徒歩4分
  - JR 線・都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀座線「新橋」駅より徒歩7分
  - 都営地下鉄浅草線・東京メトロ日比谷線「東銀座」駅より徒歩7分
- ※中央通り沿いに正面入り口があります

会場

チケット

全席自由 2,000円

e+ イープラス  
<https://eplus.jp/>

※チケット購入の方法により手数料がかかる場合がございます。



■公演に関するお問い合わせ：ベーゼンドルファーショールーム 045-307-1012  
受付時間：火曜日～土曜日 (11:00～18:00)



## 田部 京子 Kyoko Tabe

東京芸術大学附属高校在学中、17歳で日本音楽コンクール第1位に輝き一躍注目を集めた。東京芸術大学に進学後、文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルリン芸術大学に留学。エピナール国際ピアノコンクール第1位、シュナーベルコンクール第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール (ARD) 第3位ほか輝かしい成績を収める。ベルリン芸術大学および同大学院を首席卒業。バイエルン放送響、バンベルグ響、モスクワ・フィル、ワルシャワ・フィル、リンツ・ブルックナー管、ローザンヌ室内管、マンチェスター・カメラータ室内管、フランクフルト室内管ほか、N響始め国内外のオーケストラと多数共演。室内楽でもアルバン・ベルク四重奏団、カルミナ四重奏団ほか世界のトップアーティストから共演者に指名されるなど厚い信頼を寄せられている。

カーネギーホール主催によりワイル・リサイタルホールでニューヨーク・デビュー。

これまでに、村松賞（音楽部門大賞）、日本製鉄音楽賞などを受賞。

CDは、35枚以上リリースされ、シューベルト、メンデルスゾーン、シベリウス、ドビュッシー、グリーグ、シューマン、ブラームス、ベートーヴェンなど各作品集の多くが国内外で特選盤となり、アメリカのステレオレビュー、イギリスのBBCミュージックマガジン、ドイツのフォノフォルム各誌でも高い評価を受けている。

スイスで放送された、演奏家名を伏せた世界の名盤「シューベルト：ソナタ第21番」聴き比べの番組では、評論家、リスナーなどによる投票で第1位を獲得した。

また、吉松隆『プレイアデス舞曲集』、同氏から献呈された協奏曲『メモ・フローラ』などでも注目を集めた。カルミナ四重奏団との共演盤『ます & シューマン：ピアノ五重奏曲』はレコード・アカデミー賞を受賞。『ブラームス：後期ピアノ作品集』、『モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番二短調、第21番ハ長調』が併せて、リーダーズ・チョイス（レコード芸術誌）にて器楽部門第1位、協奏曲部門第2位に、『ベートーヴェン：ピアノソナタ第30番、第31番、第32番』も読者投票第3位（同誌）に選出されるほか、多くのメディアで絶賛されている。

2016年に放送されたNHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。2020年にはベートーヴェンの「ピアノ協奏曲二長調 op.61a」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得たほか、2022年は、田部京子に献呈された「シューベルト：ピアノソナタ第21番ピアノ協奏曲版（吉松隆編曲）」の世界初演が話題を集めた。2023年にCDデビュー30周年を迎え、リリースされた「メロディー」も特選盤に選出、好評を博している。

これまでに大成功を収めた『シューベルト・チクルス』、『シューマン・プラス』、『BBワークス <ベートーヴェン & ブラームス>』、『シューベルト・プラス』などのリサイタルシリーズ（浜離宮朝日ホール）に引き続き2024年にスタートした『-SHINKA- 進化 × 深化 × 新化』が高い評価を得るなど、日本を代表する実力派ピアニストとして人気を集めている。

桐朋学園大学院大学教授、桐朋学園大学 / 大学院音楽研究科特任教授。

田部京子公式サイト：<https://www.kyoko-tabe.com>



© Akira Muto

## 真嶋 雄大 (音楽評論)



© 堀田力丸

音楽評論家。5歳からピアノを、中学から作曲を学ぶ。1973年には《ソプラノと和洋合奏のための変容》を発表、自ら指揮して注目された。現在、朝日新聞等新聞各紙、「音楽の友」等媒体専門誌をはじめ、コンサートの曲目解説、CDやDVDのライナーノート、また音楽舞台劇の台本等積極的な執筆活動を続けている。NHK-FM「サンデークラシックワイド」等に出演、案内役を務めると同時に、様々なコンクールの審査員も務めている。また全国の放送局や音楽ホールなどに招かれ、故中村紘子やS.ブーニンらとのレクチャー・コンサートを行って好評を博すとともに、岡谷カノラホールやコラニー文化ホールでの「はじめてのクラシック」シリーズ等、各地でコンサートのプロデュースも意欲的に行っている。著書に「グレン・グールドと32人のピアニスト (PHP研究所)」、「ピアニストの系譜 (音楽之友社)」等、監修に「新編ピアノ&ピアニスト (音楽之友社)」等、共著多数。朝日カルチャーセンター新宿、よみうり文化カルチャー八王子、山梨英和大学メイプルカレッジ各講師を歴任。公益社団法人日本演奏連盟専門委員、「真嶋雄大の面白クラシック講座」主宰。